

事項	新たに発生を確認したクロバ葉脈黄化ウイルス（CIYVV）によるトルコギキョウえそモザイク病（新病害：病原ウイルス追加）		
ねらい	本県で新たに確認されたウイルス性病害について、その特徴が明らかとなったので、防除対策上の参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 発生場所 平成11年7月、田舎館村のトルコギキョウに発生した。</p> <p>2 病徴 葉にはえそ斑点を伴うモザイク症状を示すほか、茎えそを生じて曲がることもある。枯死することはないが、激しい場合には生育不良となり、わい化する。</p> <p>3 ウイルス伝染源と伝染 (1) 伝染源とその病徴 主にシロクロバが伝染源と考えられる。シロクロバでは、葉の葉脈に沿うように黄色のストライプやモザイクを生じる。本ウイルスはマメ科植物に感染し、ソラマメやインゲンマメで激しい茎えそや枯死を生じる病原ウイルスである。</p> <p>(2) 伝染方法 ジャガイモYウイルスと同じグループに属することから、アブラムシ類により非永続伝染すると考えられる。</p>		
期待される効果	正確な診断により早期発見ができ、的確な防除指導を行うことができる。		
利用上の注意事項	キュウリモザイクウイルスやカブモザイクウイルス、トマトモザイクウイルス、トマト黄化えそウイルスによる症状に類似する場合もあるので、注意が必要である。		
担当	青森県グリーンバイオセンター 微生物工学研究部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成11年度青森県グリーンバイオセンター試験成績書 平成11年度フラワーセンター21あおもり花き試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 トルコギキョウから分離されたクローバ葉脈黄化ウイルス (CIYVV) の寄主範囲  
(平成11年 青森グリーンバイオ)

供 試 植 物	CYVV - Lisによる病徴	
	接 種 葉	上位葉
<i>Chenopodium quinoa</i>	NL	NS, TN
<i>C. amaranticolor</i>	NL	NS, TN
センニチコウ	NL	NS
タバコ (サムスン NN)	—	—
<i>Nicotiana occidentalis</i>	NL	—
<i>N. glutinosa</i>	CRS	VC, M
ソラマメ (打越)	NL	NS, TN
インゲンマメ (TopCrop)	NL	VN, TN
ササゲ (黒種三尺)	—	—

NL：局部えそ斑点、CRS：退緑輪点、NS：えそ斑、  
TN：頂部故死、M：モザイク、VC：葉脈透化、  
VN：葉脈えそ、—：無病徴

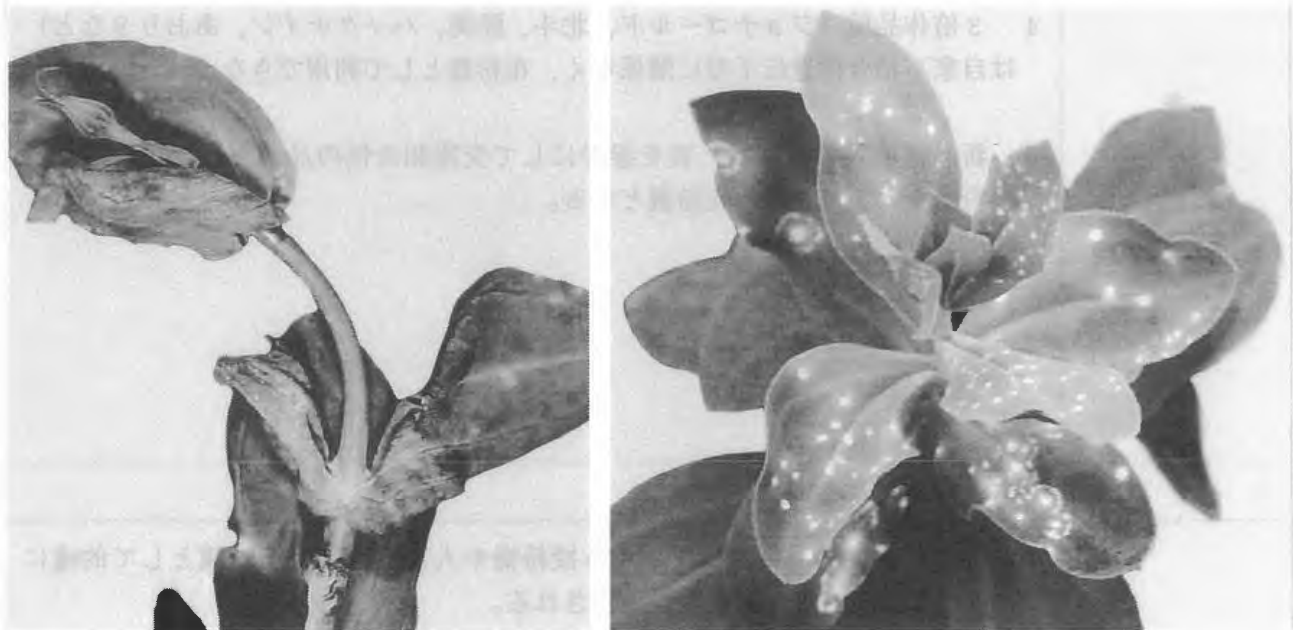


写真1 トルコギキョウに発生したクローバ葉脈黄化ウイルスによるえそモザイク病  
注) 左：田舎館村での被害株、右：接種した局部病斑と全身えそ斑点